

尾張津島天王祭

夏ですね。これから夏祭りのオンパレードです。

関西では、7月1日から京都祇園祭が始まっており、メインの山鉾巡行は7月17日に終わりました。有名どころでは、7月24日、25日には大阪天神祭が、8月2日から4日には姫路お城祭があります。

子供のころ、“かき氷”担当をした店の手伝いと地元の川祭り(尾張津島天王祭)とは、セットの思い出です。

真偽のほどは明らかではありませんが、「尾張津島天王祭をもとに、大阪天神祭が初められた。」と聞いた覚えがあります。

大阪天神祭といえば、そう、豊臣秀吉です。

秀吉は、尾張・中村(現在の名古屋市中村区)で生まれ、庄内川べりを走り回っていました。津島までの距離は、10キロもないので、いつのころに見たのかはわかりませんが確実に津島の川祭りを見ているはずです。そのとき既に天神祭は行われていたでしょうから、秀吉が“津島の川祭りを做って、大阪天神祭を今の形にした”というのが本当のところではないか、と期待を込めて思います。

派手好きの秀吉らしく、天神祭はスケールが全然違いますけど。

津島は、門前町です。

津島天王祭は津島天王社(津島神社)の祭礼です。

そして、津島天王社と近くの勝幡城を拠点としていた織田家とは、もともとつながりが深かったのです。

信長は、津島天王社を産土神(うぶすなのかみ。生まれた子供を守る神様。氏神様のひとつ)としています。信長の家臣であった秀吉も、当然影響を受けたのではないのでしょうか。

今年の尾張津島天王祭は、7月27日、28日に開催されます。

大阪では、今日、明日と近所の氏神様(鎮守神)でお祭りがあります。結構な数の屋台が出るので、夕方に涼くなったら出かけようと思っています。

冷えたビールでも飲ながら。